

## 山寺の鐘が鳴る

## 秋の夕焼け



## レッスン内容

「秋の夕焼け」を構成するイラストパーツを描いたのち、それらを描画キャンバス内でレイアウトすることで、四季のイラスト「秋の夕焼け」が完成します。

完成したイラスト「秋の夕焼け」



イラストパーツ

遠くに見えるやまなみ



五重塔



お寺の木々



夕焼けの雲



からす



星



## レッスンの前に

## ■前提となる知識

- Word の基本操作およびフリーハンドを含む図形描画の操作ができることを前提としています。そのため図形描画の手順については使用する図形と描画結果のみを記述しています。
- 描画する図形のサイズは参考値です。おおよそ同じサイズで描画してもかまいません。

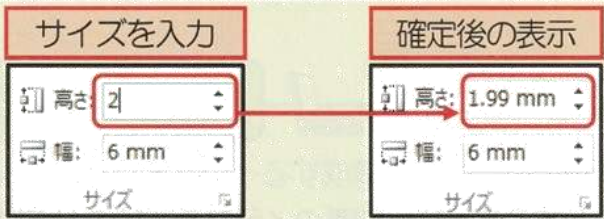
レッスンの前に イラスト用パーツ




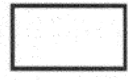

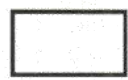
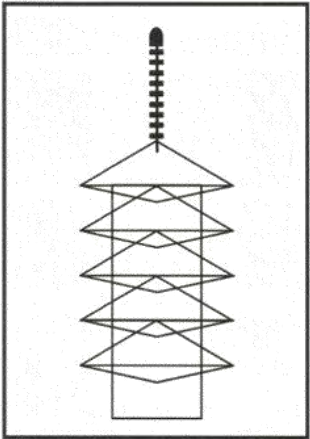

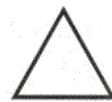
編集ウィンドウの1ページ目に図形機能を使用して「秋の夕焼け」を構成する次の5つのパーツを描きます。より写実的な表現が必要なパーツには図形機能の「フリーハンド」を使用します。描き方についてはレッスン内で解説します。







パーツを描くための図形のサイズは参考値です。また、各パーツの完成時のサイズは103ページに記述しています。

**注意**

Wordの動作環境の違いにより図形のサイズに整数を入力して確定すると、整数は表示されずに右図のように近似値が表示されることがあります。

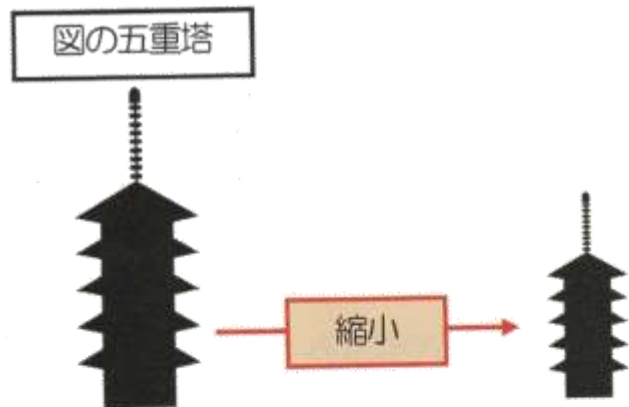


パーツの完成図	使用する図形	図形のサイズ	塗りつぶしの色	枠線の色
 遠くに見えるやまなみ	フリーハンド	図の高さ 30~35mm 図の幅 150~155mm	塗りつぶしの色 グラデーション 標準スタイル [夕闇]	線なし
 五重塔	 フローチャート : 論理積ゲート 左へ90度回転	図形の高さ 5mm 図形の幅 7mm	塗りつぶしの色 黒、テキスト1	線なし
	 正方形/長方形	図形の高さ 2mm 図形の幅 5mm	塗りつぶしの色 黒、テキスト1	線なし
	 正方形/長方形	図形の高さ 39mm 図形の幅 1mm	塗りつぶしの色 黒、テキスト1	線なし
	 正方形/長方形	図形の高さ 84mm 図形の幅 32mm	塗りつぶしの色 黒、テキスト1	線なし
 図形の組み合わせ	 二等辺三角形  	図形の高さ 16mm 図形の幅 55mm	塗りつぶしの色 黒、テキスト1	線なし

パーツの完成図	使用する図形	図形のサイズ	塗りつぶしの色	枠線の色
 お寺の木々	 フリーハンド	図の高さ 30~35mm 図の幅 100~105mm	塗りつぶしの色 テクスチャ [大理石]	線なし
 夕焼けの雲	 雲	図形の高さ 16mm 図形の幅 100mm	塗りつぶしの色 グラデーション 標準スタイル [炎]	線なし
 からす	 三日月	図形の高さ 9mm 図形の幅 3mm	塗りつぶしの色 黒、テキスト1	線なし

・「五重塔」

「五重塔」は、複雑な図形の組み合わせを縮小してもパーツの形状が維持されるように、PNG形式の図に変換します。



・「からす」

「からす」は、図形では描くのが困難な小さなサイズのパーツを描くために、PNG形式の図に変換します。



Step 1 遠くに見えるやまなみ

操作開始



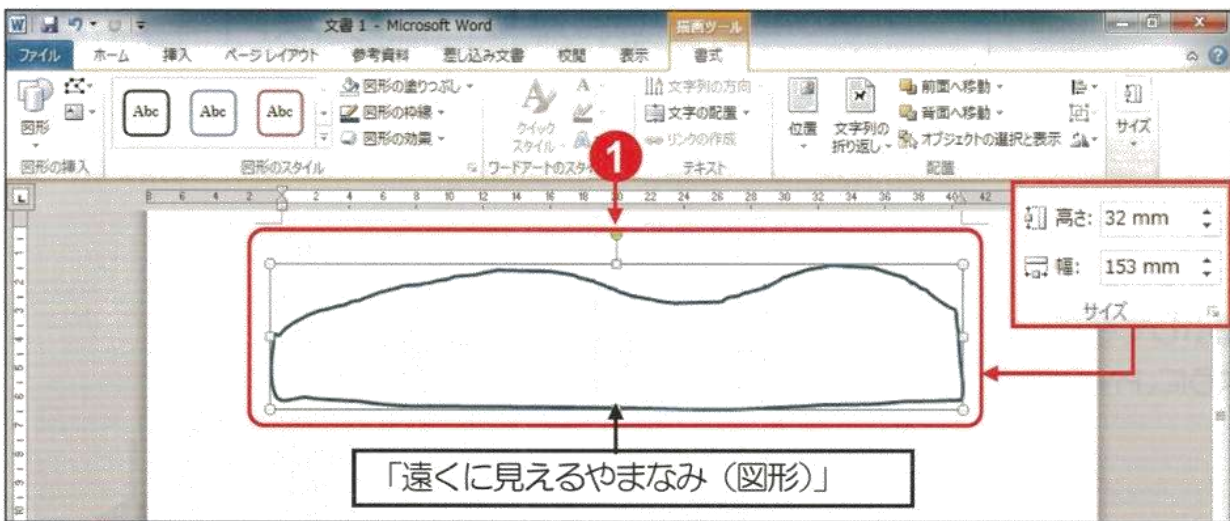
- 1 編集ウィンドウの 1 ページ目の上部に次の図を参考に、[フリーハンド] を使用して次の設定の「遠くに見えるやまなみ (図形)」を描きます。

[サイズ] - [図形の高さ] : 30~35mm (作例では「32mm」としています。)

[図形の幅] : 150~155mm (作例では「153mm」としています。)

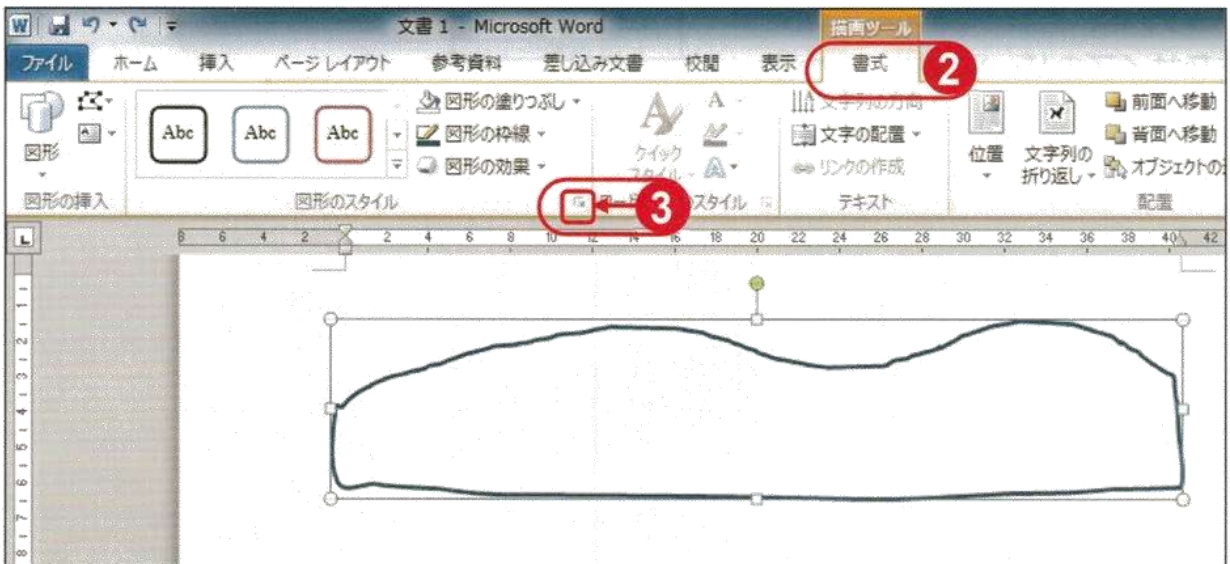
仕上げの操作でトリミングするためおおよそ上記のサイズでかまいません。

図形の枠線は後ほどの操作で「線なし」に設定するので、線の太さと色は既定のままでかまいません。



- 2 「遠くに見えるやまなみ (図形)」が選択されている状態で [描画ツール] の [書式] タブをクリックします。

- 3 [図形のスタイル] グループの右端にある [ダイアログボックス起動ツール] をクリックします。



〔図形の書式設定〕ダイアログボックスが表示されます。(Word 2013 の場合は〔図の書式設定〕作業ウィンドウが表示されます。詳しくは補足資料を参照してください。)

- 4 [図形の書式設定] ダイアログボックスの左端のメニューから [塗りつぶし] をクリックします。
- 5 [塗りつぶし] セクションの [塗りつぶし (グラデーション)] をクリックします。
- 6 [標準スタイル] の右端にある [下向き三角(▼)] ボタンをクリックします。
- 7 表示されるグラデーションのメニューから [夕闇] をクリックします。
- 8 [方向] の右端にある [下向き三角(▼)] ボタンをクリックします。
- 9 表示されるメニューから [上方向] をクリックします。
- 10 次の項目の設定を確認します。  
 [角度]  
 270°  
 [グラデーションの分岐点]  
 標準スタイルの [夕闇] の設定  
 そのほかの設定は既定のままとします。
- 11 [閉じる] ボタンをクリックします。



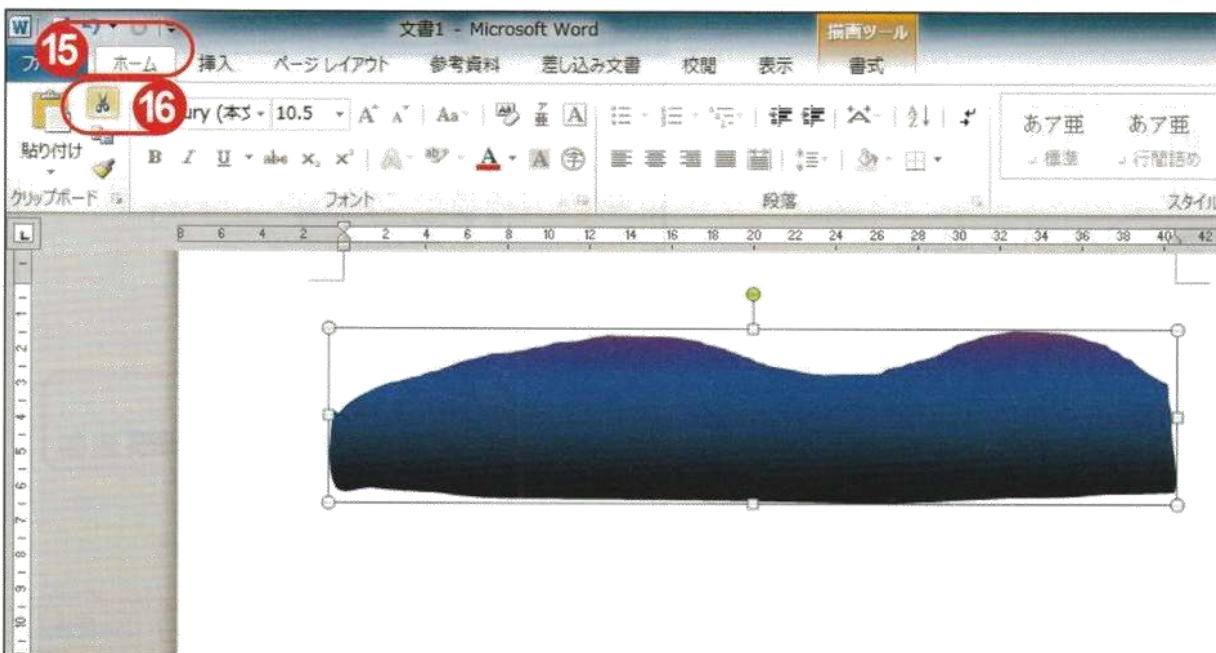
「遠くに見えるやまなみ (図形)」に [夕闇] のグラデーションが設定されます。

- 12 「遠くに見えるやまなみ (図形)」が選択されている状態で [描画ツール] の [書式] タブをクリックします。
- 13 [図形のスタイル] グループにある [図形の枠線] の右端にある [下向き三角 (▼)] ボタンをクリックします。
- 14 表示されるメニューから [線なし] をクリックします。



「遠くに見えるやまなみ (図形)」から図形の枠線が非表示になります。

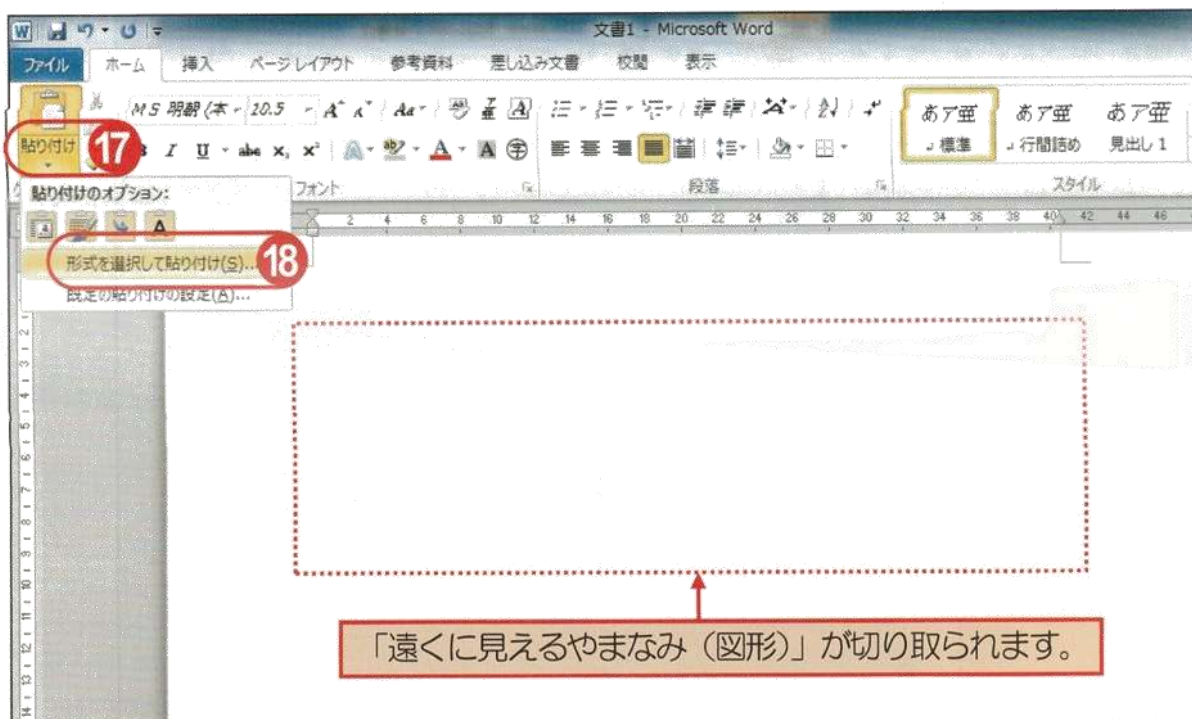
- 15 「遠くに見えるやまなみ (図形)」が選択されている状態で [ホーム] タブをクリックします。
- 16 [クリップボード] グループにある [切り取り] ボタンをクリックします。



「遠くに見えるやまなみ (図形)」が切り取られます。

17 [クリップボード] グループにある [貼り付け] の文字の部分をクリックします。

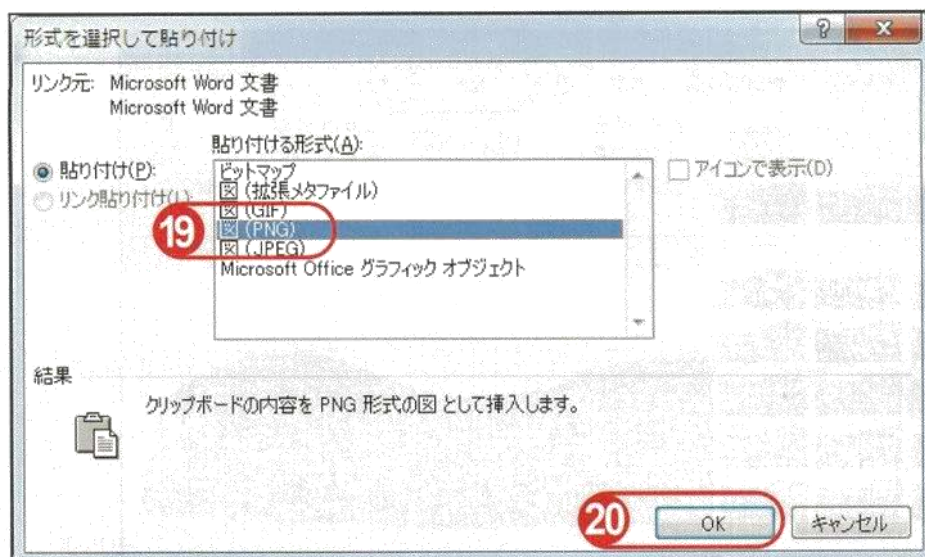
18 表示されるメニューから [形式を選択して貼り付け] をクリックします。



[形式を選択して貼り付け] ダイアログボックスが表示されます。

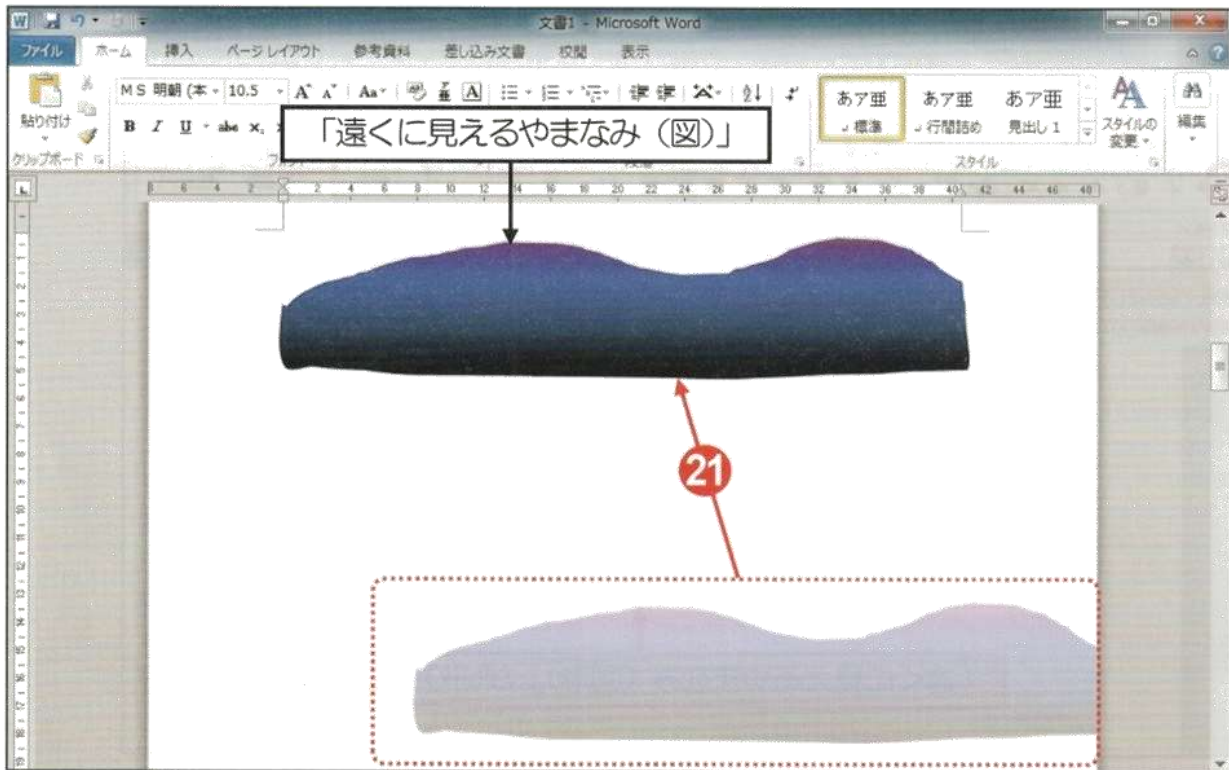
19 [図 (PNG)] をクリックします。

20 [OK] ボタンをクリックします。

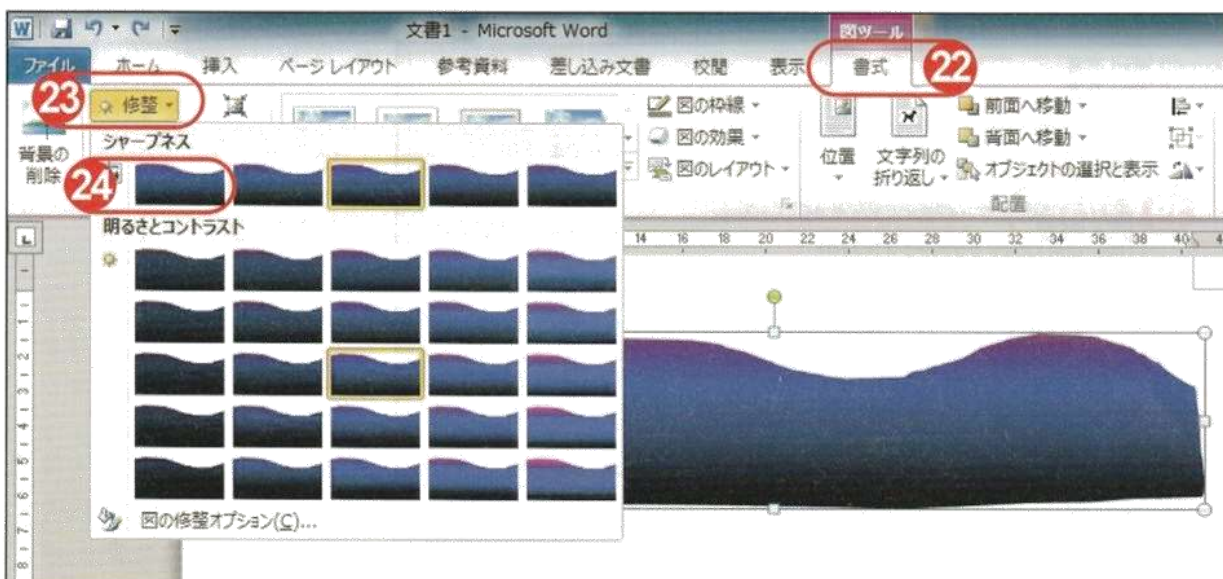


「遠くに見えるやまなみ (図形)」がPNG形式の図に変換されます。これを「遠くに見えるやまなみ (図)」とします。

- 21 「遠くに見えるやまなみ (図)」が編集ウィンドウの中央部分に貼り付くので、編集ウィンドウの上部(「遠くに見えるやまなみ (図形)」)を描いていた位置)に配置します。



- 22 [図] ツールの [書式] タブをクリックします。
- 23 [調整] グループにある [修整] をクリックします。
- 24 表示されるメニューから [シャープネス] セクションの [ソフトネス: 50%] をクリックします。





「遠くに見えるやまなみ (図)」の表面や輪郭がわずかにぼけることで、やまなみが遠くに見えるような表現ができました。

- 25 [調整] グループにある [色] をクリックします。(Word 2013 の場合、22 ページの「●Word 2013 のカラーパレットの配色を Word 2010 に合わせる」を参照してカラーパレットの配色を変更してください。)
- 26 表示されるメニューから [色の彩度] セクションの [鮮やかさ：0%] (Word 2013 の場合は [彩度：0%]) をクリックします。



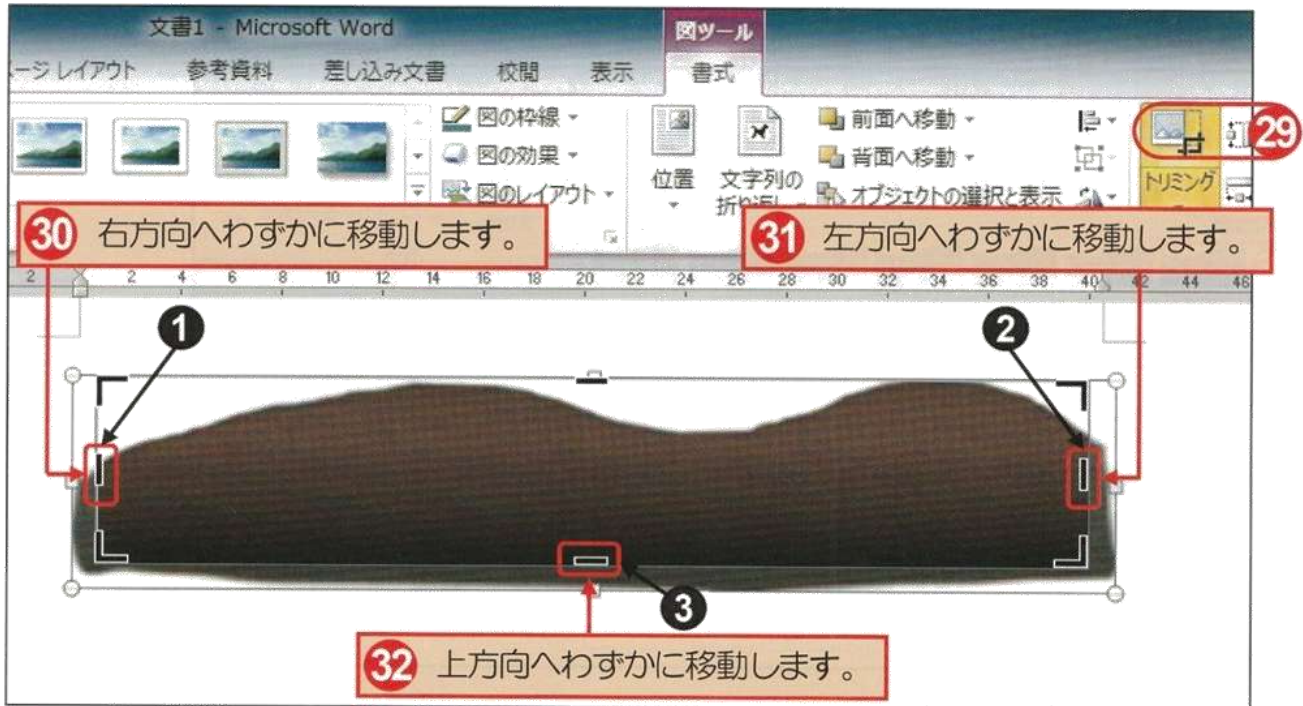
「遠くに見えるやまなみ (図)」の色がグレーの階調表示になります。

- 27 [調整] グループにある [色] をクリックします。
- 28 表示されるメニューから [色の変更] セクションの [赤、アクセント2 (濃)] をクリックします。



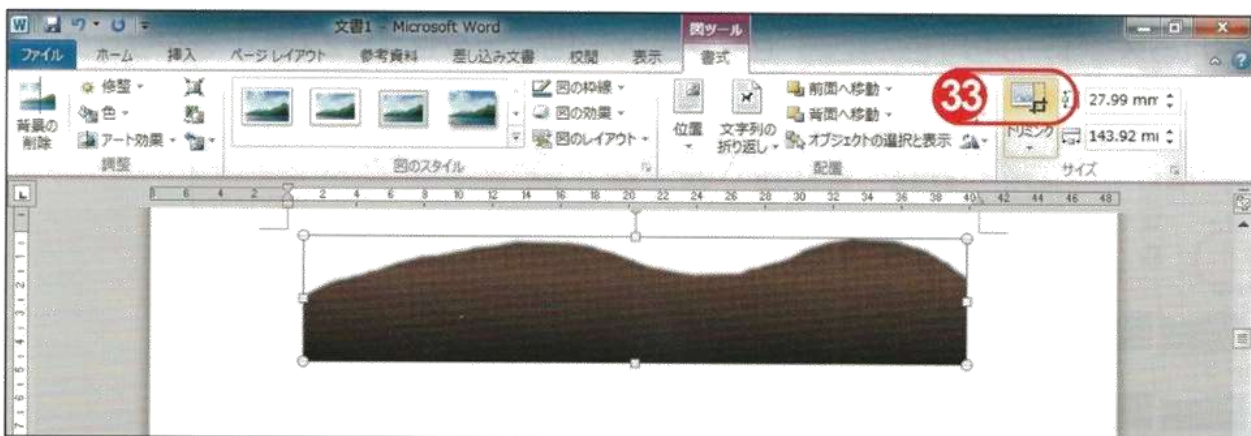
「遠くに見えるやまなみ (図)」の表面が夕焼けに染まったような色合いになります。

- 29 [サイズ] グループの [トリミング] のアイコンをクリックします。
- 30 トリミングハンドル ① を右方向へわずかに移動します。
- 31 トリミングハンドル ② を左方向へわずかに移動します。
- 32 トリミングハンドル ③ を上方向へわずかに移動します。



- 33 [サイズ] グループの [トリミング] のアイコンをクリックします。

「遠くに見えるやまなみ (図)」の左右の辺と底辺が直線になります。



ここまでの操作で「遠くに見えるやまなみ」を描くことができました。

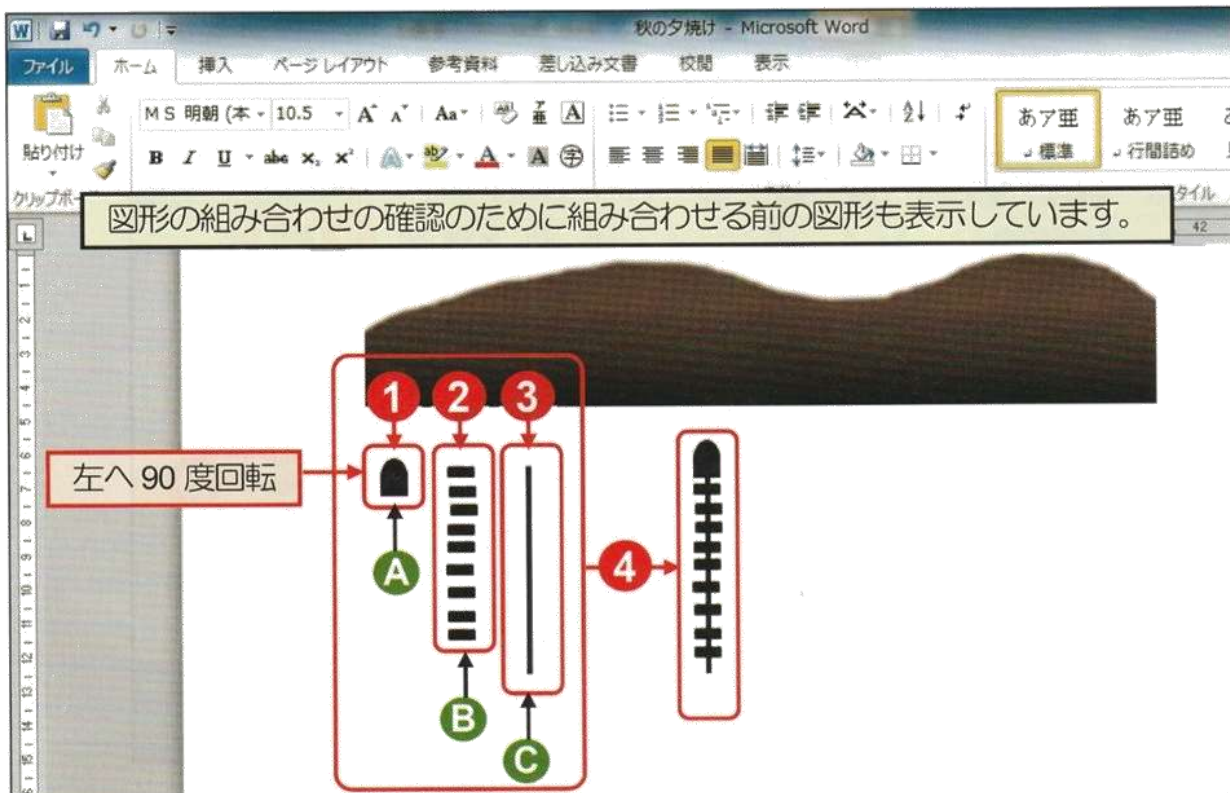
ここまでの操作を「秋の夕焼け.docx」というファイル名を付けて保存しておきましょう。

操作終了

## Step 2 五重塔

## 操作開始

- 1 「遠くに見えるやまなみ」の下部に [フローチャート：論理積ゲート] を使用して次の設定の図形 **A** を描き、左へ 90 度回転させます。  
 [サイズ] - [図形の高さ] : 5mm [図形の幅] : 7mm  
 [図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 黒、テキスト 1  
 [図形の枠線] - [線なし]
- 2 「遠くに見えるやまなみ」の下部に [正方形/長方形] を使用して次の設定の図形 **B** を描き、9 個になるように複製します。  
 [サイズ] - [図形の高さ] : 2mm [図形の幅] : 5mm  
 [図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 黒、テキスト 1  
 [図形の枠線] - [線なし]
- 3 「遠くに見えるやまなみ」の下部に [正方形/長方形] を使用して次の設定の図形 **C** を描きます。  
 [サイズ] - [図形の高さ] : 39mm [図形の幅] : 1mm  
 [図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 黒、テキスト 1  
 [図形の枠線] - [線なし]
- 4 **A**、**B**、**C** を次の図のように組み合わせます。次の操作で図形を整列させるので、ここでは **C** を中心軸としておおまかに縦に並ぶように組み合わせます。

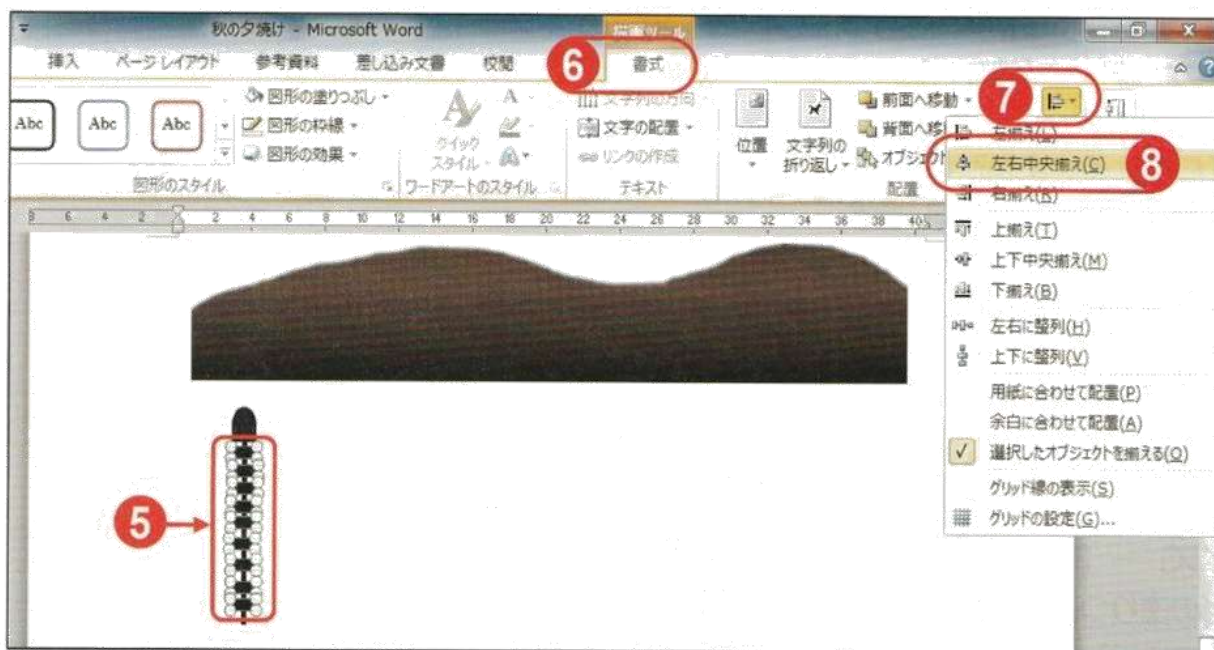


5 9個の **B** を選択します。

6 [書式] タブをクリックします。

7 [配置] グループにある [配置] をクリックします。

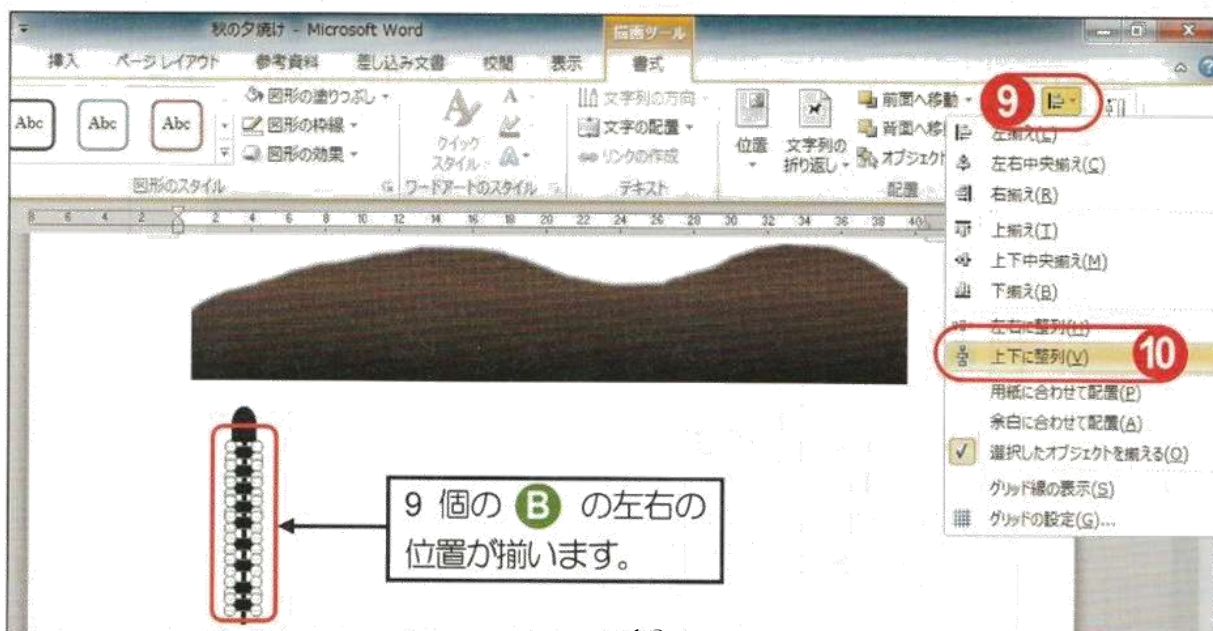
8 表示されるメニューから [左右中央揃え] をクリックします。



9個の **B** の左右の位置が揃います。

9 9個の **B** が選択されている状態で [配置] グループにある [配置] をクリックします。

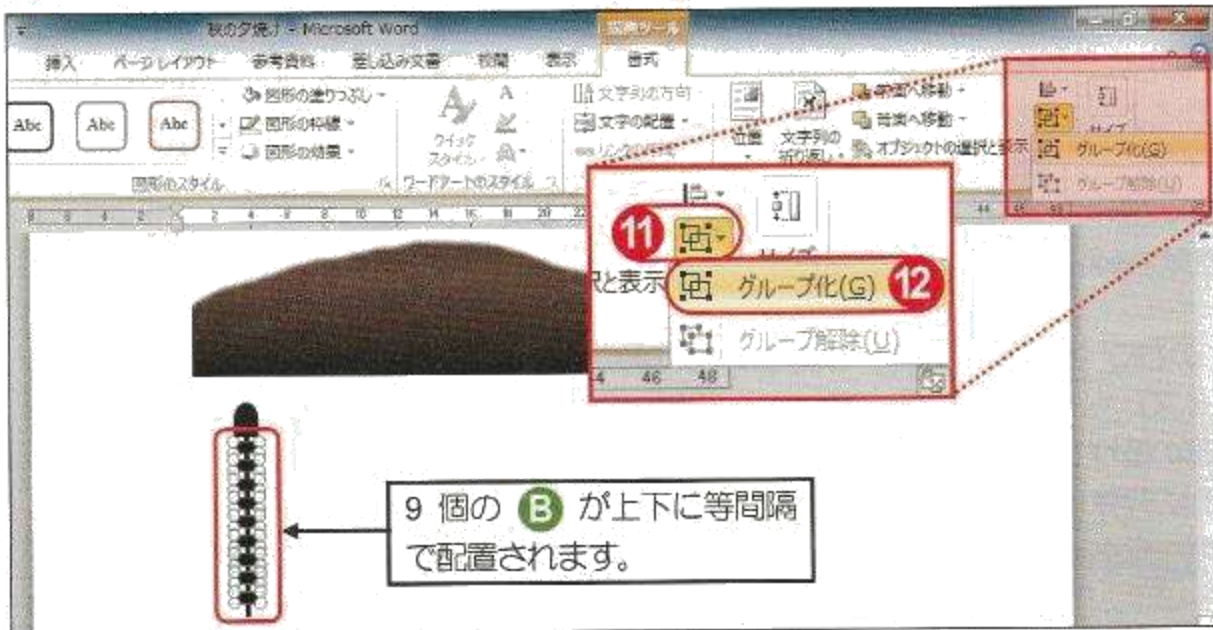
10 表示されるメニューから [上下に整列] をクリックします。



9個の **B** が上下に等間隔で配置されます。

**11** 9個の **B** が選択されている状態で [配置] グループの [グループ化] をクリックします。

**12** 表示されるメニューから [グループ化] をクリックします。

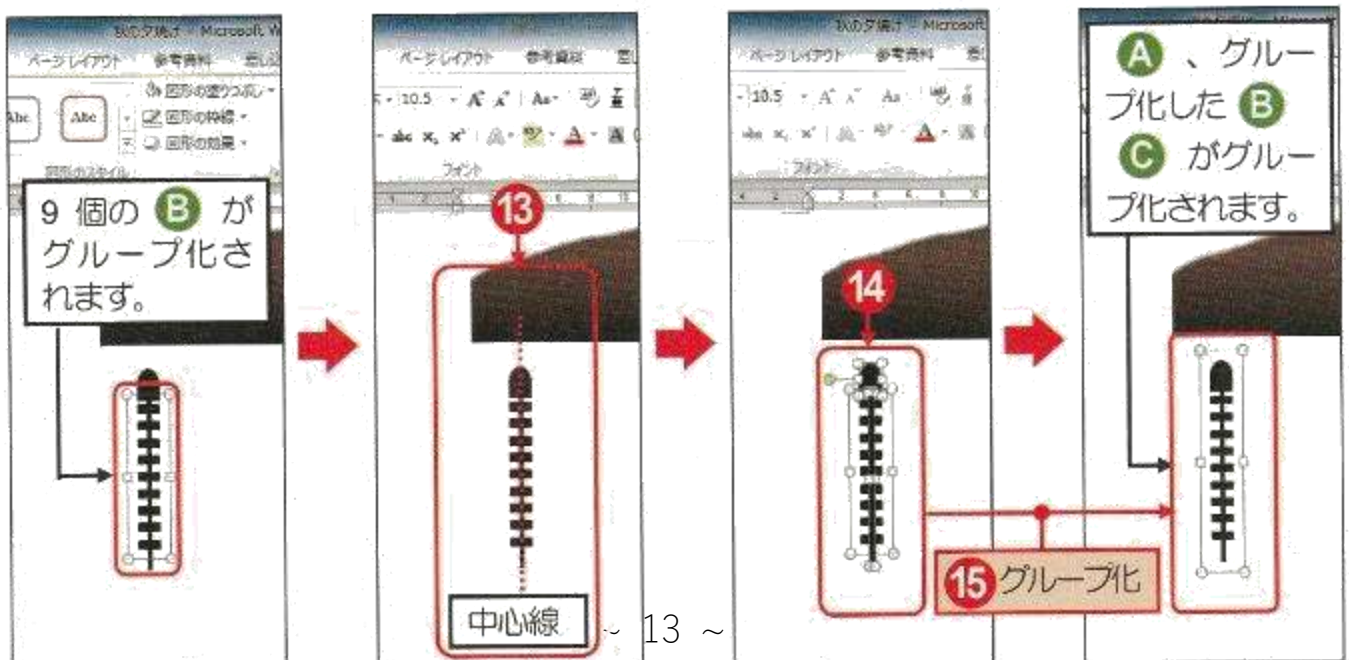


9個の **B** がグループ化されます。

**13** **A**、グループ化した **B**、**C** の位置を微調整して縦に整列します。

**14** **C** をクリックしたのち、[Shift] キーを押しながらグループ化した **B**、**A** の順にクリックして、**A**、グループ化した **B**、**C** をまとめて選択します。

**15** この Step の **11** から **12** までと同様の操作で **A**、グループ化した **B**、**C** をグループ化します。



- 16 15 の操作でグループ化した図形の右に[二等辺三角形]を使用して次の設定の図形 **D** を描き、5 個になるように複製します。

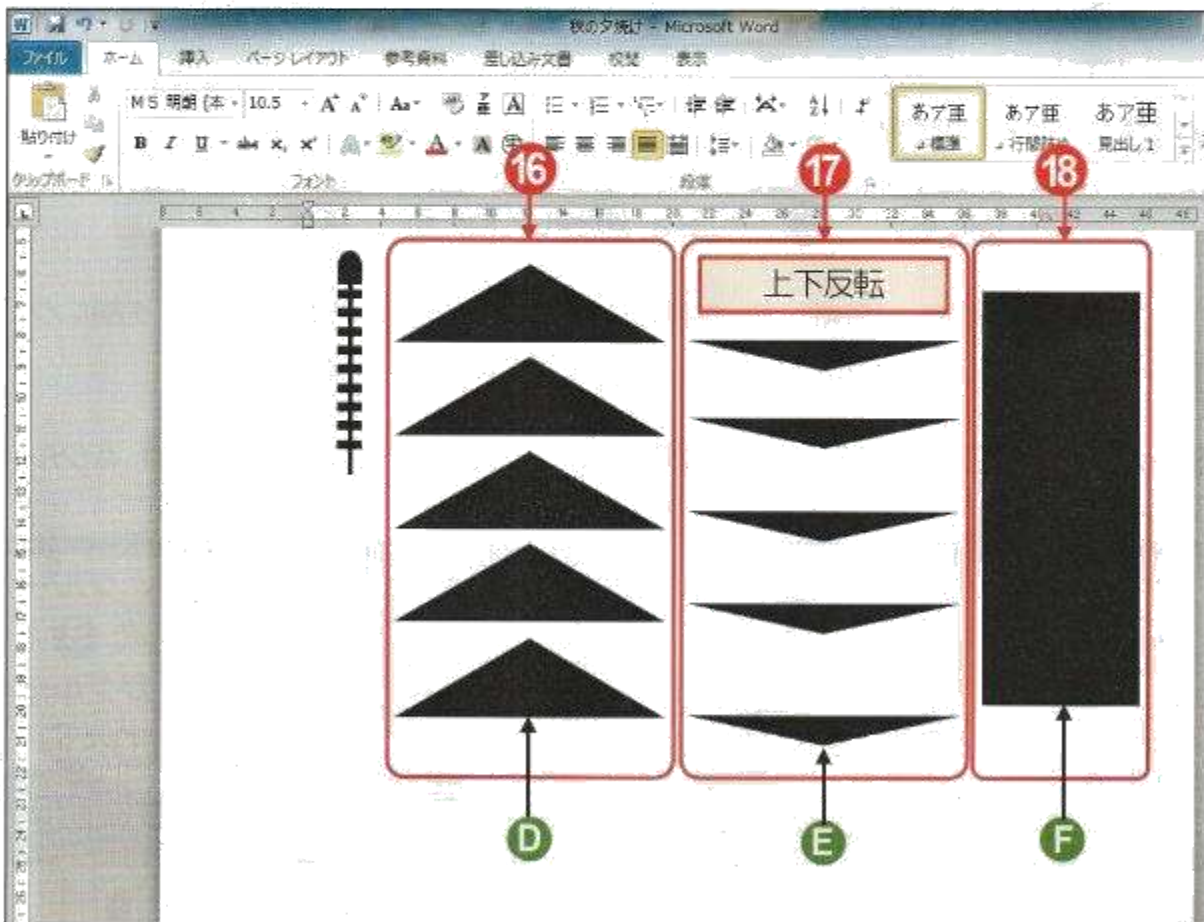
[サイズ] - [図形の高さ] : 16mm [図形の幅] : 55mm  
 [図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 黒、テキスト 1  
 [図形の枠線] - [線なし]

- 17 **D** の右に [二等辺三角形] を使用して次の設定の図形 **E** を描き、上下反転させて、5 個になるように複製します。

[サイズ] - [図形の高さ] : 6mm [図形の幅] : 55mm  
 [図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 黒、テキスト 1  
 [図形の枠線] - [線なし]

- 18 **E** の右に [正方形/長方形] を使用して次の設定の図形 **F** を描きます。

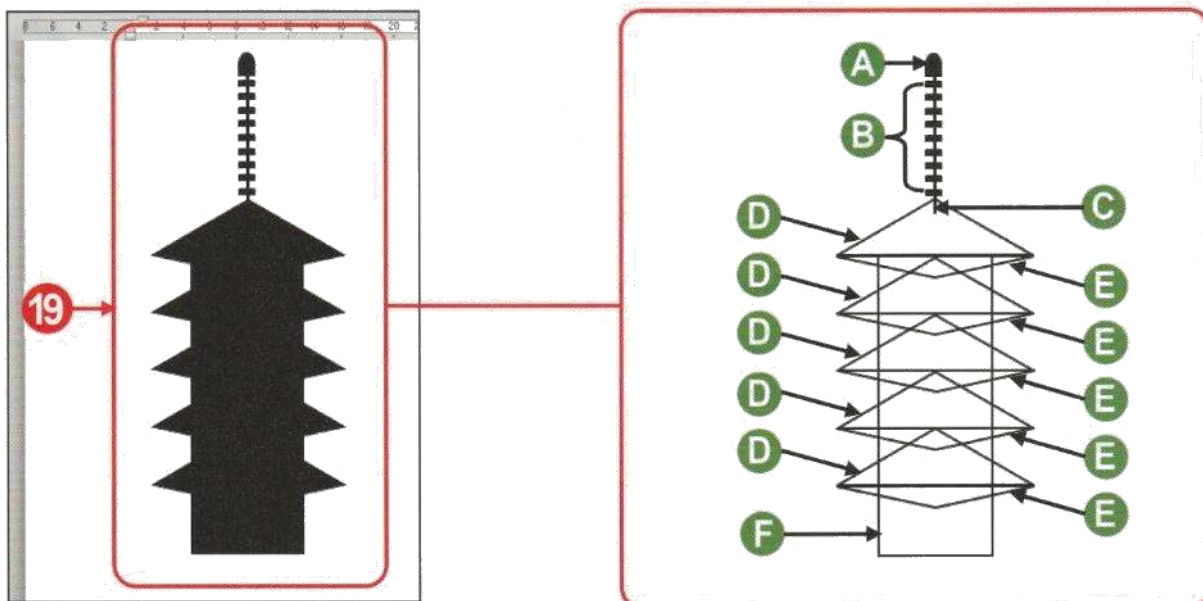
[サイズ] - [図形の高さ] : 84mm [図形の幅] : 32mm  
 [図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 黒、テキスト 1  
 [図形の枠線] - [線なし]



この Step では五重塔の組み合わせの全体を表示させるために、これ以降の解説図では編集ウィンドウのズーム倍率を「80%」に設定しています。



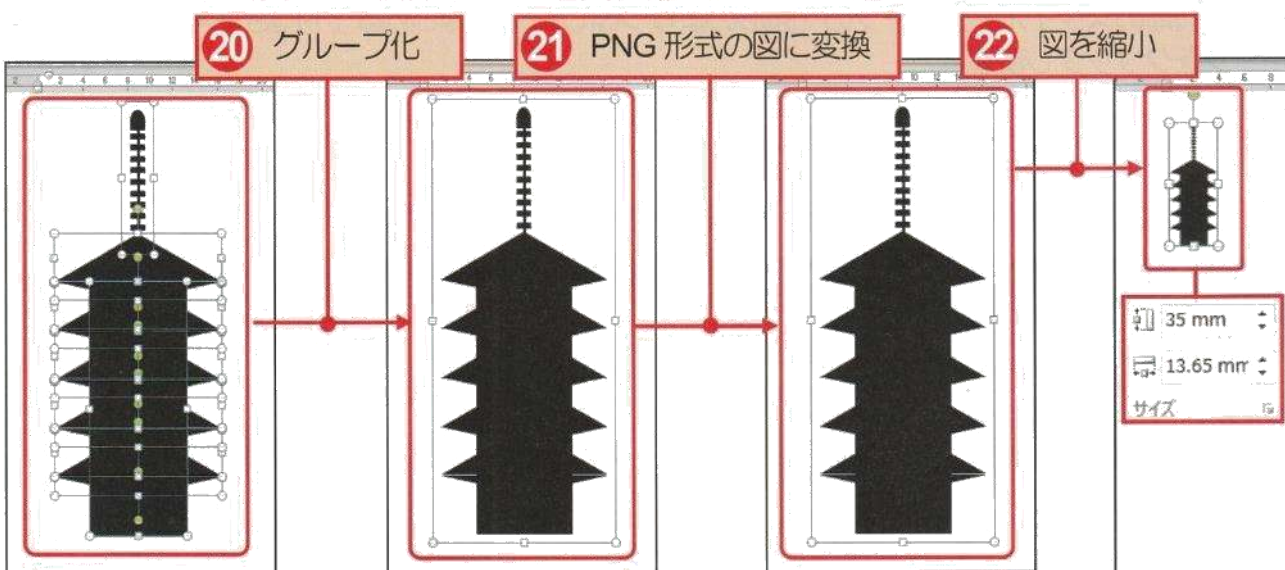
19 A から F までの図形を次の図のように組み合わせます。



20 A から F までの図形をすべて選択したのち、この Step の 11 から 12 までと同様の操作でグループ化します。これを「五重塔 (図形)」とします。

21 Step 1 の 15 から 20 までと同様の操作で「五重塔 (図形)」を PNG 形式の図に変換します。これを「五重塔 (図)」とします。

22 「五重塔 (図)」の [図の高さ] を「35mm」に設定します。[図の幅] は高さに合わせて自動調整されるサイズでかまいません。



ここまでの操作で「五重塔」を描くことができました。

ここまでの操作を「秋の夕焼け.docx」に上書き保存しておきましょう。

## Step 3 お寺の木々

## 操作開始

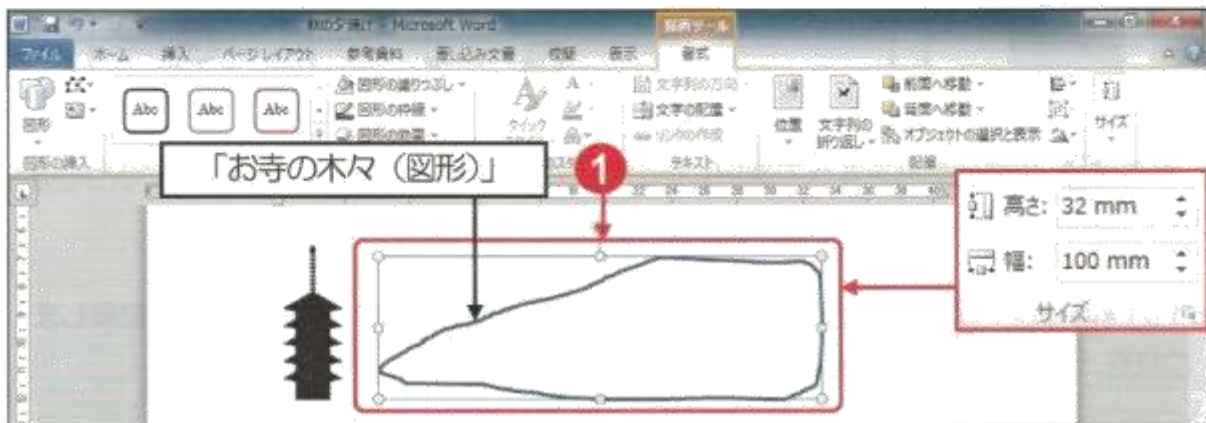
- 1 「五重塔」の右に次の図を参考に、[フリーハンド] を使用して次の設定の「お寺の木々 (図形)」を描きます。

[サイズ] - [図形の高さ] : 30~35mm (作例では「32mm」としています。)

[図形の幅] : 100~105mm (作例では「100mm」としています。)

仕上げの操作でトリミングするためおおよそ上記のサイズでかまいません。

図形の枠線は後ほどの操作で「線なし」に設定するので、線の太さと色は既定のままでかまいません。



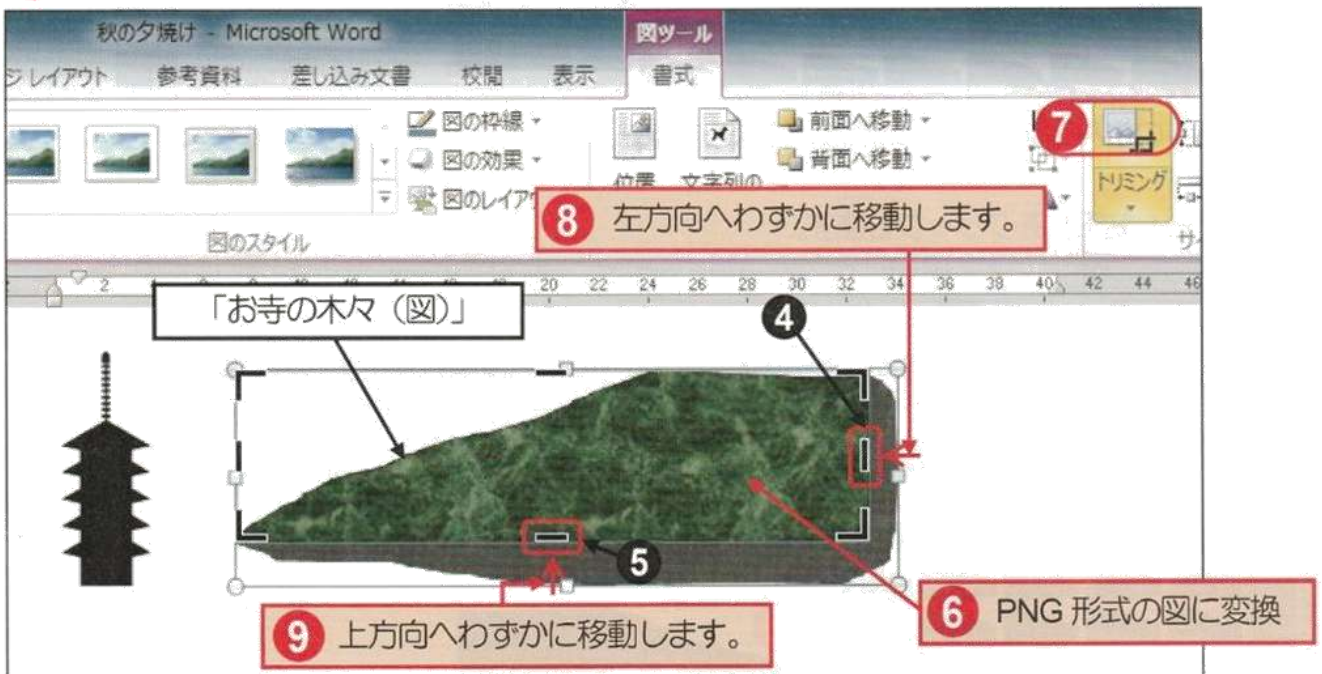
- 2 「お寺の木々 (図形)」が選択されている状態で [描画ツール] の [書式] タブをクリックします。
- 3 [図形のスタイル] グループの [図形の塗りつぶし] の右端にある [下向き三角 (▼)] ボタンをクリックします。
- 4 表示されるメニューから [テクスチャ] をポイントします。
- 5 表示されるテクスチャ一覧メニューから [大理石] をクリックします。





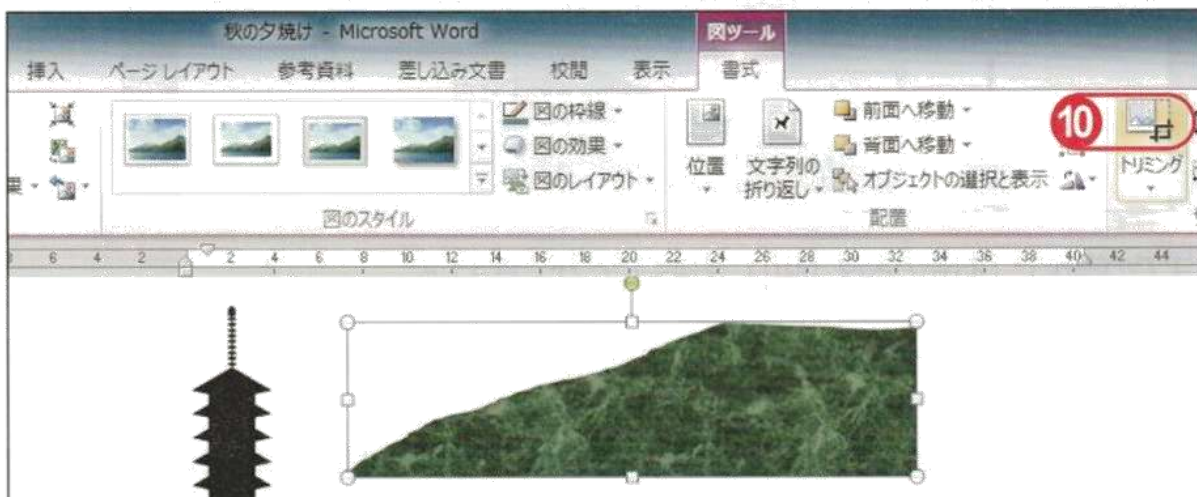
「お寺の木々 (図形)」に [大理石] のテクスチャが設定されます。

- ⑥ 「お寺の木々 (図形)」が選択されている状態で Step 1 の ⑮ から ⑳ までと同様の操作で「お寺の木々 (図形)」を PNG 形式の図に変換します。これを「お寺の木々 (図)」とします。
- ⑦ 「お寺の木々 (図)」が選択されている状態で [サイズ] グループの [トリミング] のアイコンをクリックします。
- ⑧ トリミングハンドル ④ を左方向へわずかに移動します。
- ⑨ トリミングハンドル ⑤ を上方向へわずかに移動します。



- ⑩ [サイズ] グループの [トリミング] のアイコンをクリックします。

「お寺の木々 (図)」の右の辺と底辺が直線になります。



- 11 「お寺の木々 (図)」が選択されている状態で [図ツール] の [書式] タブをクリックしま
- 12 [調整] グループにある [色] をクリックします。
- 13 表示されるメニューから [色の彩度] セクションの [鮮やかさ : 33%] (Word 2013 の場合は [彩度 : 33%]) をクリックします。

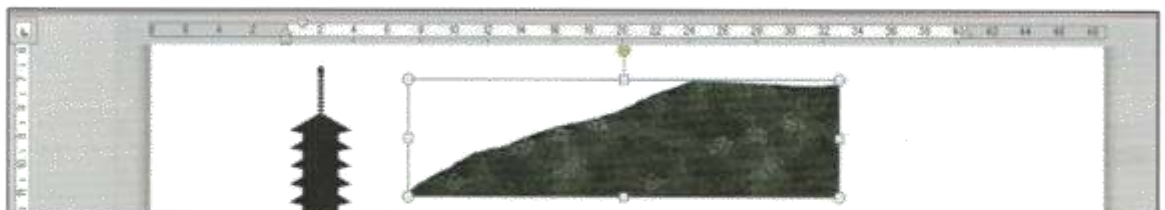


「お寺の木々 (図)」が暗い色合いになります。

- 14 [アート効果] をクリックします。
- 15 表示されるメニューから [ガラス] をクリックします。



「お寺の木々 (図)」に木立のイメージを表現できました。



ここまでの操作で「お寺の木々 (図)」を描くことができました。

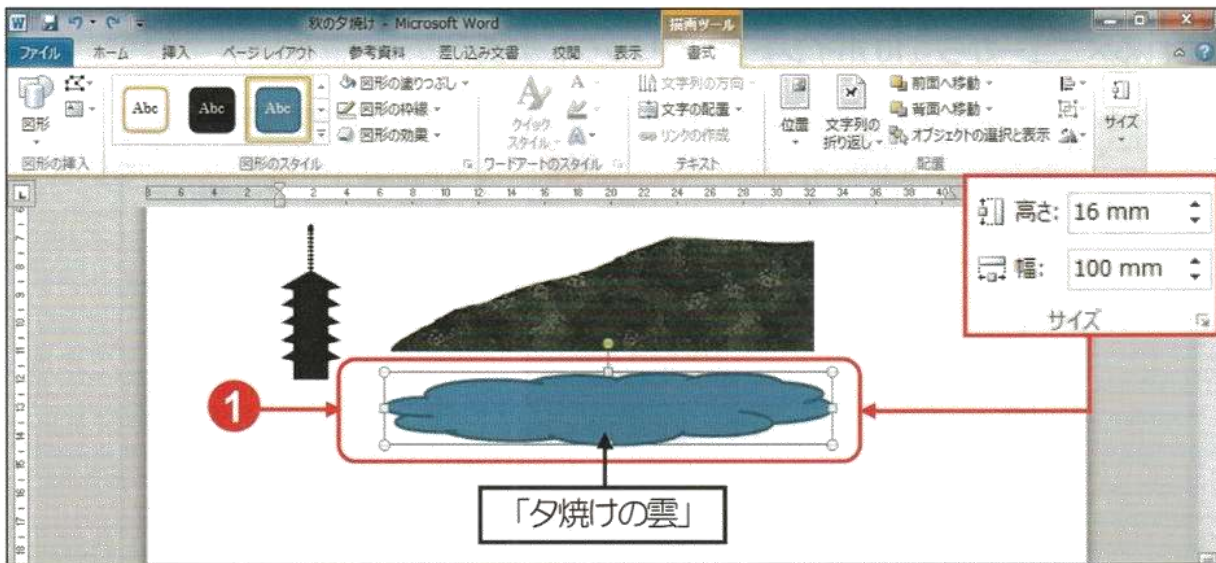
ここまでの操作を「秋の夕焼け.docx」に上書き保存しておきましょう。

操作終了

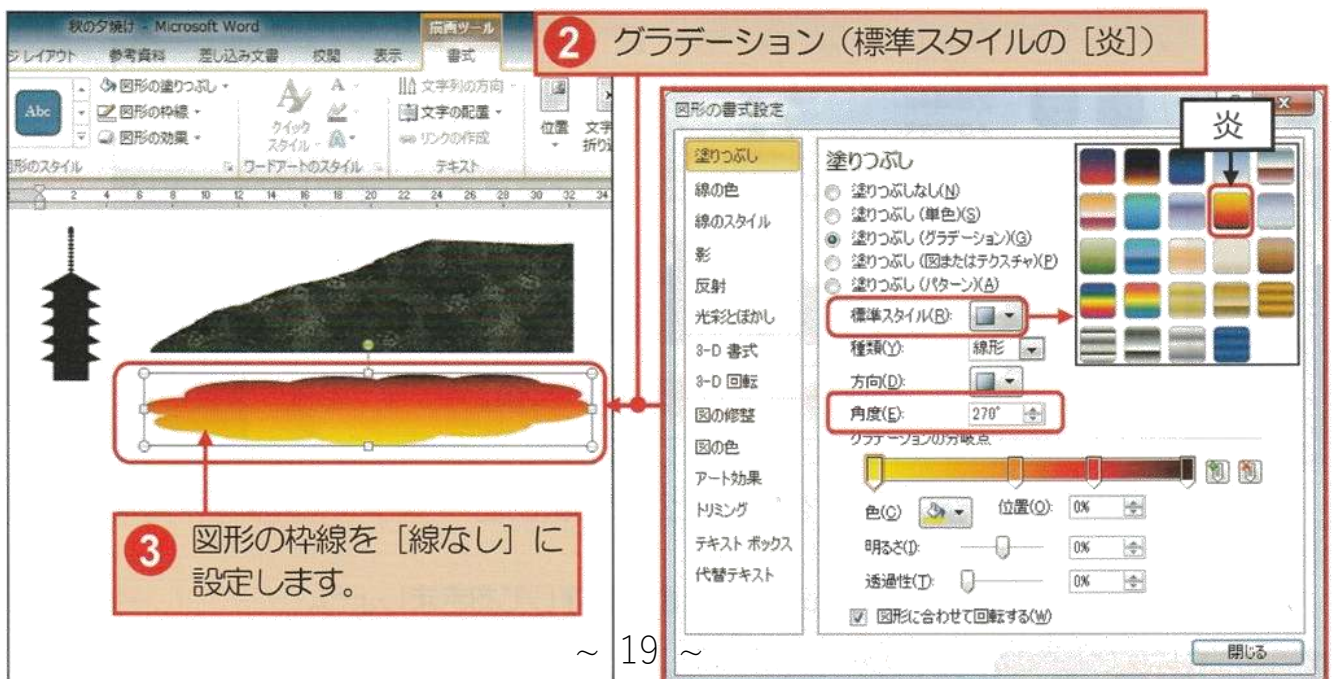
Step 4 夕焼けの雲

操作開始

- 「お寺の木々 (図)」の下部に、[雲] を使用して次の設定の「夕焼けの雲」を描きます。  
 [サイズ] - [図形の高さ]：16mm [図形の幅]：100mm  
 塗りつぶしの色や枠線の太さと色は、既定のままでかまいません。



- 「夕焼けの雲」が選択されている状態で Step 1 の ② から ⑪ までと同様の操作でグラデーション (標準スタイルの [炎]) を設定します。(Word 2013 の場合は補足資料を参照してください。)
- 「夕焼けの雲」が選択されている状態で Step 1 の ⑫ から ⑭ までと同様の操作で図形の枠線を [線なし] に設定します。

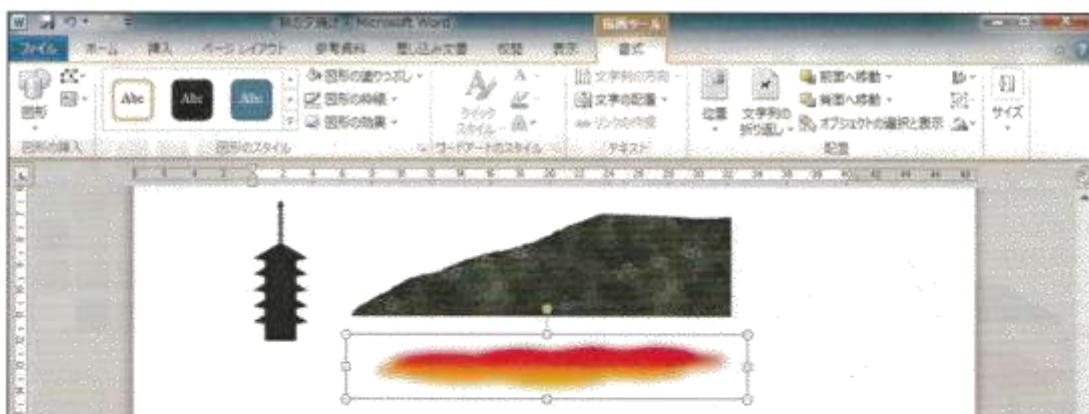


「夕焼けの雲」に [炎] のグラデーションが設定され、図形の枠線が非表示になります。

- 4 「夕焼けの雲」が選択されている状態で [描画ツール] の [書式] タブをクリックします。
- 5 [図形のスタイル] グループにある [図形の効果] をクリックします。
- 6 表示されるメニューから [ぼかし] をポイントします。
- 7 表示されるメニューから [10 ポイント] をクリックします。



「夕焼けの雲」の輪郭がぼけることで、夕陽に染まる雲が表現できました。



ここまでの操作で「夕焼けの雲」を描くことができました。

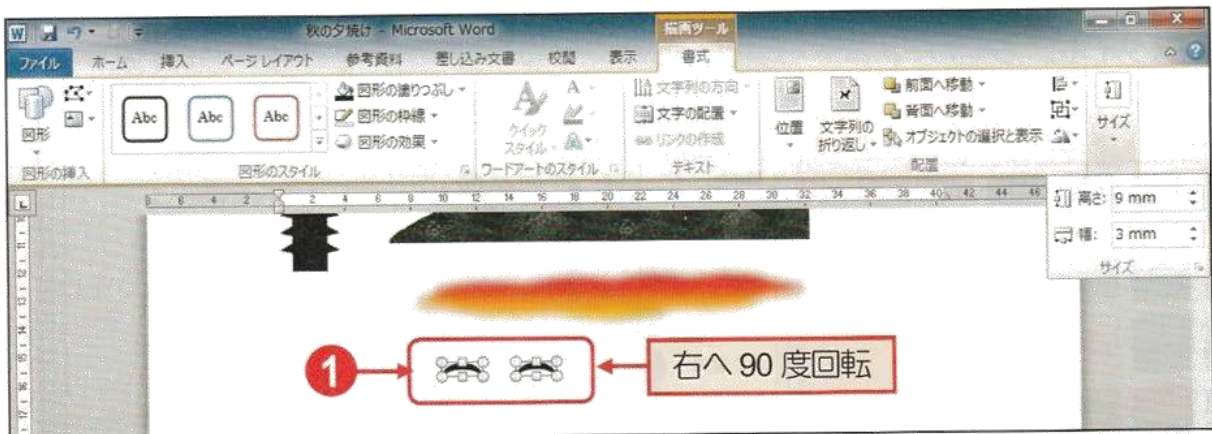
ここまでの操作を「秋の夕焼け.docx」に上書き保存しておきましょう。

操作終了

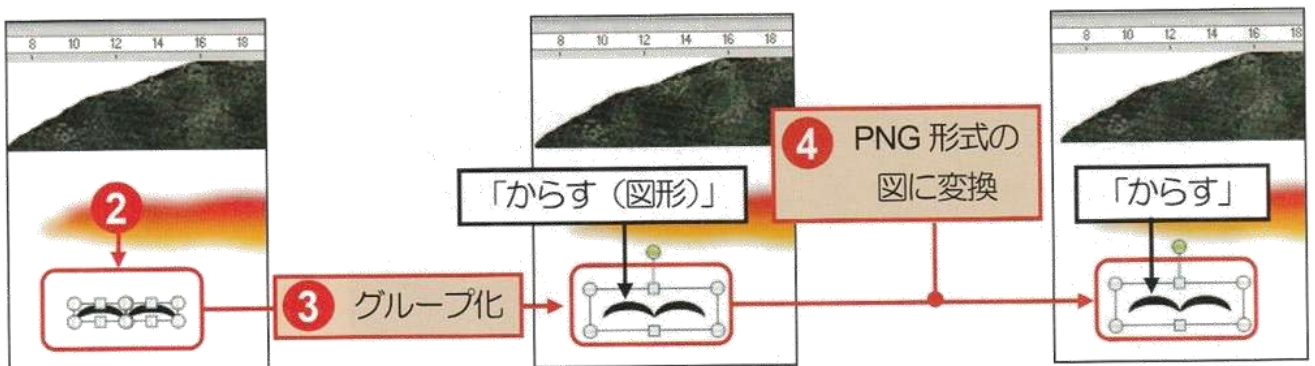
Step 5 からす

操作開始

- 「夕焼けの雲」の下部に、「三日月」を使用して次の設定の図形を2個描き、2個とも右へ90度回転させます。  
 [サイズ] - [図形の高さ] : 9mm [図形の幅] : 3mm  
 [図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 黒、テキスト1  
 [図形の枠線] - [線なし]



- 図形（三日月）を次の図のように組み合わせます。
- 図形（三日月）の組み合わせが選択されている状態で Step 2 の 11 から 12 までと同様の操作でグループ化します。これを「からす（図形）」とします。
- 「からす（図形）」が選択されている状態で Step 1 の 15 から 20 までと同様の操作で「からす（図形）」を PNG 形式の図に変換します。これを「からす」とします。



ここまでの操作で「からす」を描くことができました。

ここまでの操作を「秋の夕焼け.docx」に上書き保存しておきましょう。

操作終了

Step 6 イラストの作成

操作開始

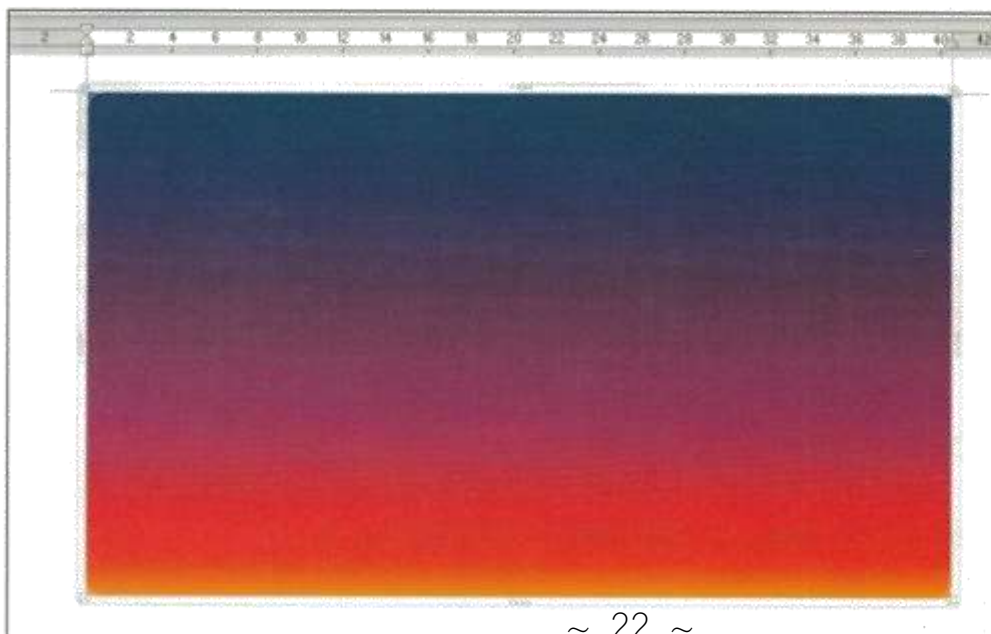
- 1 2 ページ目の描画キャンバスをクリックします。
- 2 描画キャンバスが選択されている状態で Step 1 の 2 から 11 までと同様の操作でグラデーション（標準スタイルの [夕焼け]）を設定します。（Word 2013 の場合は補足資料を参照してください。）

1 [標準スタイル]：夕焼け



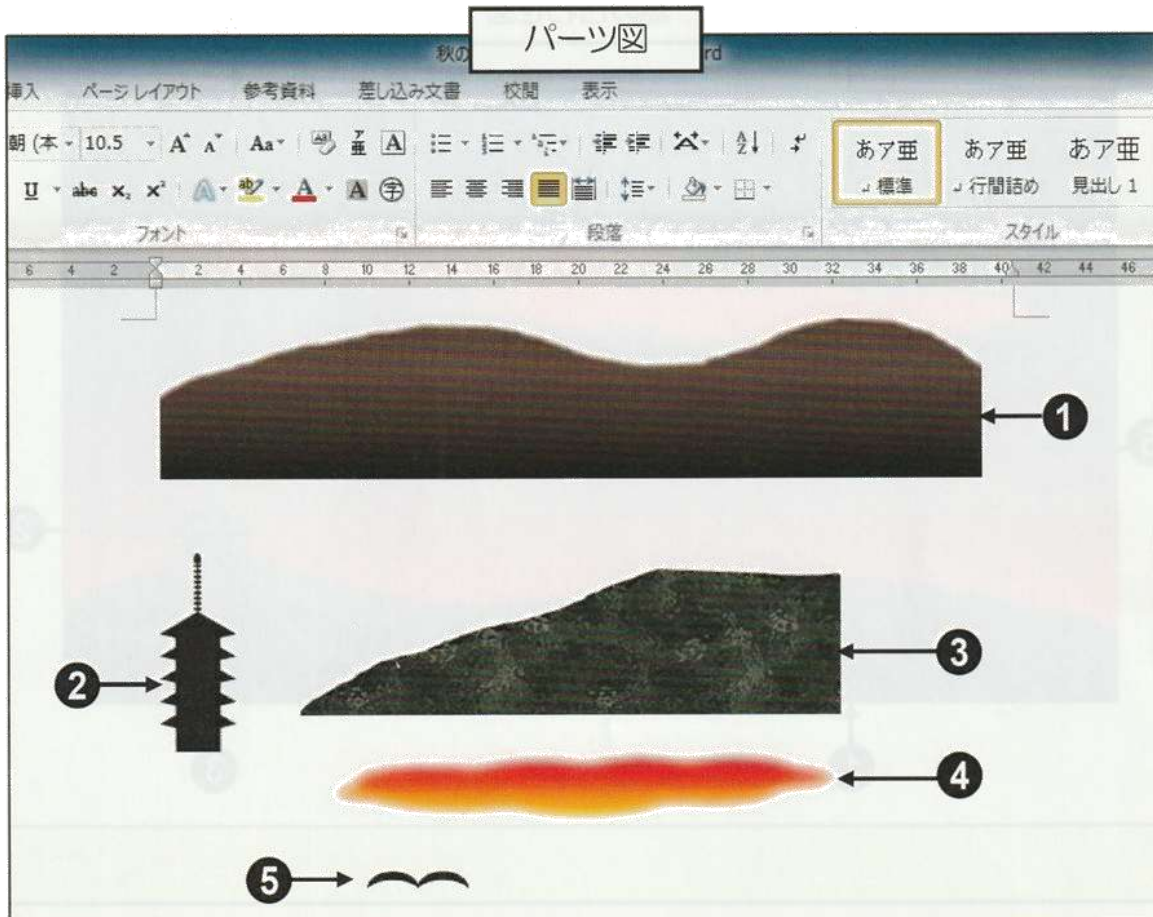
2 [方向]：下方向

3 [角度]：90°



これより描画キャンバスにパーツを貼り付けてイラストを作成する操作となります。

次の表の番号順に1 ページ目のパーツをコピーして、2 ページ目の描画キャンバスをクリックして描画キャンバスの枠が表示されたら、組み合わせ図と同じ位置に貼り付けます。  
 なお、次の表のパーツのサイズは参考値です。パーツを貼り付けるときに、組み合わせ図のように配置できるよう必要に応じて各パーツのサイズを微調整してください。



番号	パーツ名	サイズ
①	遠くに見えるやまなみ	図の高さ：20mm 図の幅：150mm
②	五重塔	図の高さ：35mm 図の幅：14mm
③	お寺の木々	図の高さ：14mm 図の幅：94mm
④	夕焼けの雲 2つ描きます。	図形の高さ：16mm 図形の幅：100mm
⑤	からす 3羽描きます わずかに回転させます。	図の高さ：2mm 図の幅：6mm

描画キャンパスの上部に図形機能の「星とリボン」セクションにある「星 4」を使用して、次の設定の「星」(番号 6) を3個(白2個、黄1個) 描きます。

[サイズ] - [図形の高さ]: 4mm [図形の幅]: 4mm

[図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色]: 白(2個) 黄(1個)

[図形の枠線] - [線なし]



ここまでの操作で「秋の夕焼け」のイラストが完成します。完成したイラストは「秋の夕焼け.docx」に上書き保存しておきましょう。

操作終了

